

芦屋市

中小企業等アンケート調査

令和6年度

芦屋市 中小企業等アンケート調査 調査概要

目 的 : 芦屋市の中小企業・小規模企業の現状とニーズを把握し、支援策の検討の基礎資料とすることを目的として実施

調査実施期間 : 令和6年 5月31日～令和6年 8月31日

周 知 方 法 : ①芦屋市商工会 会員事業所への郵送及びメール、聞き取り等
②シルバー人材センターによるポスティング

データ収集方法: web回答(QRコード利用)

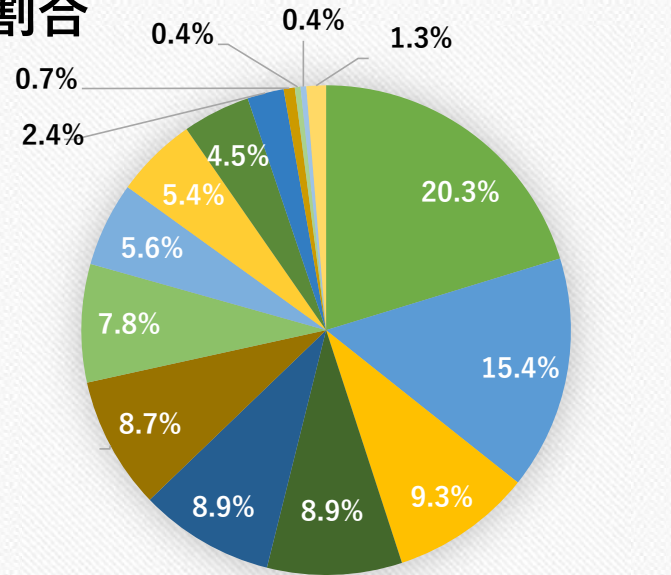
調査対象者数 : ①商工会会員事業者 1,066社【回答数 411件(回答率 38.6%)】
②ポスティング 1,900社【回答数 127件(回答率 6.7%)】

回 答 数 : 538件(回答率 18.1%)

委 託 先 : 芦屋市商工会

問1-2.業種について (問1-1は企業名・屋号のため記載していません。)

業種別割合



- 卸売・小売業
- 医療・福祉
- 専門サービス業
- 建設業
- 製造業
- 教育・学習支援業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- その他
- 宿泊・飲食サービス業
- 生活関連サービス業
- その他のサービス業
- 不動産・物品賃貸業
- 情報通信業
- 運輸業
- 金融・保険業

| 業種 | 件数 | 比率 |
|---------------|-----|-------|
| 卸売・小売業 | 109 | 20.3% |
| 宿泊・飲食サービス業 | 83 | 15.4% |
| 医療・福祉 | 50 | 9.3% |
| 生活関連サービス業 | 48 | 8.9% |
| 専門サービス業 | 48 | 8.9% |
| その他のサービス業 | 47 | 8.7% |
| 建設業 | 42 | 7.8% |
| 不動産・物品賃貸業 | 30 | 5.6% |
| 製造業 | 29 | 5.4% |
| 情報通信業 | 24 | 4.5% |
| 教育・学習支援業 | 13 | 2.4% |
| 運輸業 | 4 | 0.7% |
| 電気・ガス・熱供給・水道業 | 2 | 0.4% |
| 金融・保険業 | 2 | 0.4% |
| その他 | 7 | 1.3% |
| 合計 | 538 | 100% |

(問1-3.事業内容の詳細は別紙参照)

問1-4.事業形態について

| 事業形態 | 件数 | 比率 |
|-------|-----|-------|
| 法人 | 258 | 48.0% |
| 個人事業主 | 279 | 51.9% |
| その他 | 1 | 0.2% |
| 合 計 | 538 | 100% |

問1-5.事業規模について

| 事業規模 | 件数 | 比率 |
|--------|-----|-------|
| 小規模事業者 | 446 | 82.9% |
| 中小企業 | 77 | 14.3% |
| 大企業 | 13 | 2.4% |
| その他 | 2 | 0.4% |
| 合 計 | 538 | 100% |

法人と個人事業所の回答数はほぼ同数となったが、事業規模は 8割以上が小規模事業者であり、2021年の経済センサス(参考①)の結果(全国の小規模事業所の割合84.5%)と近い結果となった。

※小規模事業者の定義 (参考②)

| 業種分類 | 中小企業基本法の定義 |
|----------|------------|
| 製造業その他 | 従業員20人以下 |
| 商業・サービス業 | 従業員 5人以下 |

(参考①)

[中小企業庁 中小企業・小規模事業者数 集計結果](https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/chousa/chu_kigyocnt/index.html)

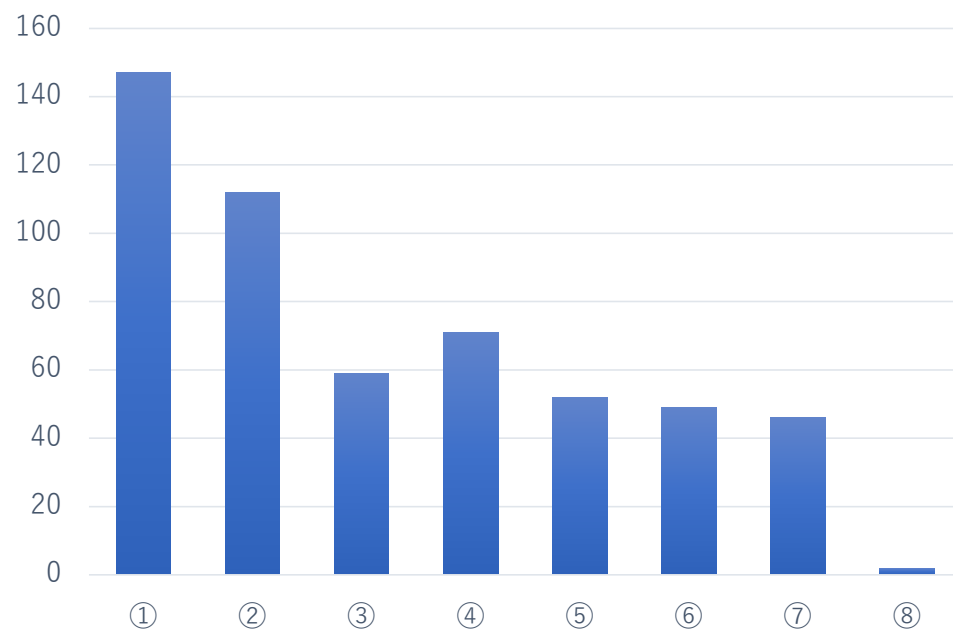
https://www.chusho.meti.go.jp/koukai/chousa/chu_kigyocnt/index.html

(参考②)

[中小企業庁 中小企業・小規模企業者の定義](https://www.chusho.meti.go.jp/soshiki/teigi.html?_fsi=nTfuAVCZ)

https://www.chusho.meti.go.jp/soshiki/teigi.html?_fsi=nTfuAVCZ

問1-6.売上高について



| 売上高 | 件数 | 比率 |
|---------------------|-----|-------|
| ① 1,000万円未満 | 147 | 27.3% |
| ② 1,000万円～2,000万円未満 | 112 | 20.8% |
| ③ 2,000万円～3,000万円未満 | 59 | 11.0% |
| ④ 3,000万円～5,000万円未満 | 71 | 13.2% |
| ⑤ 5,000万円～1億円未満 | 52 | 9.7% |
| ⑥ 1億円～3億円未満 | 49 | 9.1% |
| ⑦ 3億円以上 | 46 | 8.6% |
| ⑧ その他 | 2 | 0.4% |
| 合計 | 538 | 100% |

総務省 個人企業経済調査では、2022年の1企業あたりの全国年間売上高は1,326万8,000円。

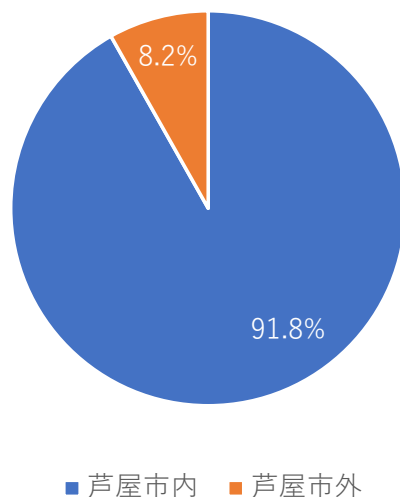
アンケート回答の中央値に位置する売上高は 2,000～3,000万円と全国平均額を上回っている。2,000万円以下が約半数ではあるが、1億円以上の企業が約100社あり引き上げている状態と見られる。

(参考)

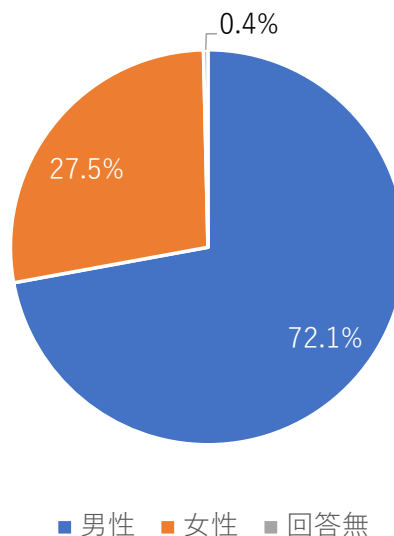
[総務省 2023年\(令和5年\)個人企業経済調査 結果の概要](https://www.stat.go.jp/data/kojinke/pdf/2023gaiyou.pdf)

<https://www.stat.go.jp/data/kojinke/pdf/2023gaiyou.pdf>

問1-7.主たる事業所の場所



問1-8.代表者の性別



問1-9.代表者の年齢

| 代表者の年齢 | 件数 | 比率 | (参考) 全国中小 企業 |
|--------|-----|-------|--------------------|
| 20歳代 | 6 | 1.1% | 0.2% |
| 30歳代 | 39 | 7.2% | 3.0% |
| 40歳代 | 124 | 23.0% | 15.8% |
| 50歳代 | 144 | 26.8% | 29.1% |
| 60歳代 | 152 | 28.3% | 26.4% |
| 70歳代以上 | 67 | 12.5% | 25.5% |
| その他 | 6 | 1.1% | 0% |
| 合計 | 538 | 100% | 100% |

本アンケートの集計結果では女性代表者が27.5%となっており、帝国データバンクの調査によれば全国の女性社長の割合(株式会社等法人)は8.4%であり、規模の違いはあるが比較的高い数値となっている。

全国の中小企業の代表者の分布と比較すると、本アンケートの集計結果に比べ、全国では70代以上の構成比が高く40代以下の構成比が低く、本市では世代交代が進んでいる状況であると推測される。

(参考)

[帝国データバンク 全国「女性社長」分析調査\(2024年\)](https://www.tdb.co.jp/report/economic/20241128-womanpres2024/)

<https://www.tdb.co.jp/report/economic/20241128-womanpres2024/>

[中小企業庁 2024年版中小企業白書](https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2024/chusho/b1_3_6.html)

https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2024/chusho/b1_3_6.html

問2-1.事業所の形態について

| 事業所形態 | 件数 | 比率 |
|------------|-----|-------|
| 独自経営 | 502 | 93.3% |
| フランチャイズ店 | 12 | 2.2% |
| 全国チェーン店の支店 | 8 | 1.5% |
| その他 | 16 | 3.0% |
| 合計 | 538 | 100% |

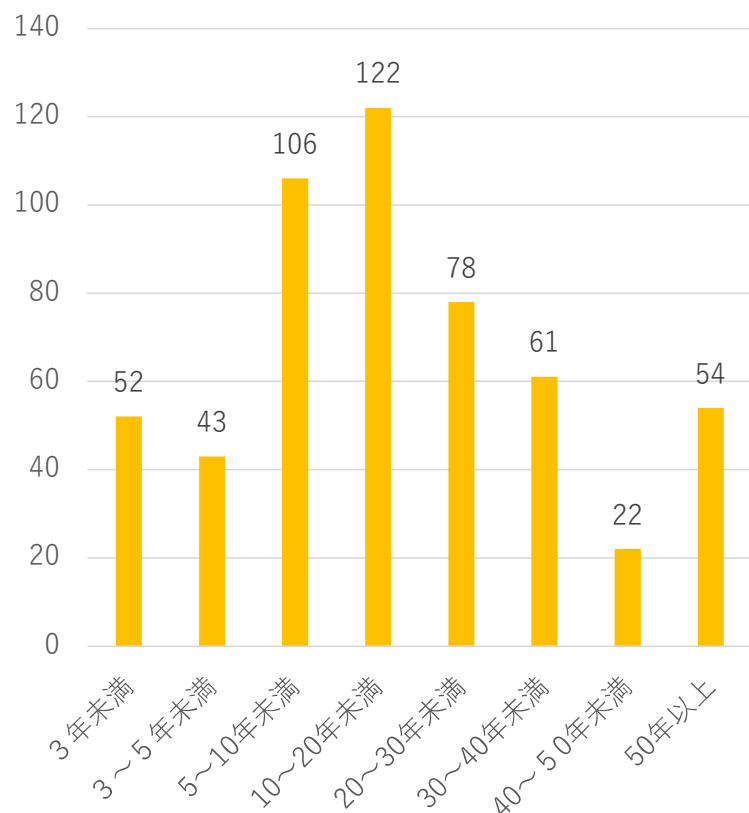
問2-2.事業所の所在地について

| 町名1 | 件数 | 町名 | 件数 | 町名 | 件数 | 町名 | 件数 |
|-------|----|-------|----|------|----|-----|----|
| 奥池南町 | 3 | 月若町 | 7 | 川西町 | 18 | 伊勢町 | 5 |
| 六麓荘町 | 4 | 西芦屋町 | 1 | 津知町 | 9 | 松浜町 | 3 |
| 朝日ヶ丘町 | 13 | 三条南町 | 1 | 打出町 | 16 | 平田町 | 2 |
| 山手町 | 2 | 楠町 | 17 | 南宮町 | 19 | 浜風町 | 6 |
| 山芦屋町 | 3 | 上宮川町 | 6 | 若宮町 | 6 | 高浜町 | 1 |
| 岩園町 | 18 | 業平町 | 13 | 宮川町 | 5 | 若葉町 | 3 |
| 東山町 | 12 | 前田町 | 5 | 竹園町 | 6 | 緑町 | 2 |
| 東芦屋町 | 13 | 清水町 | 3 | 精道町 | 13 | 潮見町 | 1 |
| 西山町 | 20 | 春日町 | 16 | 浜芦屋町 | 2 | 陽光町 | 3 |
| 翠ヶ丘町 | 6 | 打出小槌町 | 11 | 平田北町 | 1 | 海洋町 | 2 |
| 親王塚町 | 7 | 宮塚町 | 20 | 大東町 | 7 | 不明 | 4 |
| 大原町 | 41 | 茶屋之町 | 30 | 浜町 | 10 | | |
| 船戸町 | 38 | 大榭町 | 29 | 西蔵町 | 5 | | |
| 松ノ内町 | 11 | 公光町 | 29 | 呉川町 | 10 | | |

問2-3.事業所の属する商店街・商業施設

| 団体・施設名 | 件数 | 団体・施設名 | 件数 |
|--------------|-----|------------|-----|
| 属していない | 406 | 浜芦屋商交会 | 12 |
| 芦屋市三八会 | 16 | 浜東商店会 | 4 |
| 芦屋市本通り商店会 | 10 | ラ・モール芦屋商店会 | 3 |
| 芦屋山手サンモール商店会 | 12 | モンテメール | 5 |
| 打出アーケード商店会 | 11 | ラポルテ（全館） | 19 |
| 駅西商店街 | 5 | 大丸芦屋店 | 1 |
| 川西商店街 | 12 | 芦屋なるみか | 2 |
| 芦屋水道橋商店会 | 8 | その他 | 5 |
| 茶屋さくら通り事業者会 | 7 | 合 計 | 538 |

問2-4.市内での営業年数について



| 営業年数 | 件数 | 比率 |
|----------|-----|-------|
| 3年未満 | 52 | 9.7% |
| 3～5年未満 | 43 | 8.0% |
| 5～10年未満 | 106 | 19.7% |
| 10～20年未満 | 122 | 22.7% |
| 20～30年未満 | 78 | 14.5% |
| 30～40年未満 | 61 | 11.3% |
| 40～50年未満 | 22 | 4.1% |
| 50年以上 | 54 | 10.0% |
| 合計 | 538 | 100% |

2024年の倒産企業の倒産企業の平均寿命は23.2年(業種別:卸売業29.6年、小売業24.1年、建設業21.7年等)となっている。本市では創業率・廃業率ともに高いが(令和3年度経済センサス:県下創業率1位・廃業率11位)、アンケート回答538社のうち30年以上営む企業が137社と25.5%を占めており、市内で長期に営業されている事業者も多いことがわかる。

(参考)

[東京商工リサーチ 倒産企業の平均寿命](https://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1201208_1527.html)

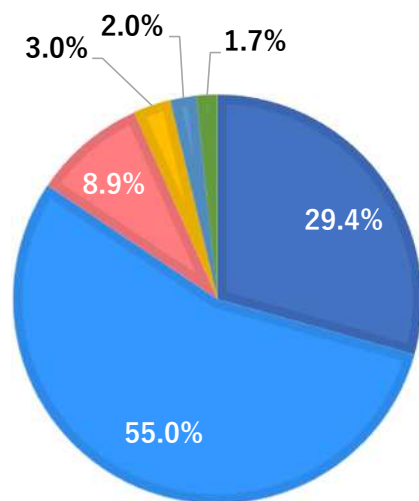
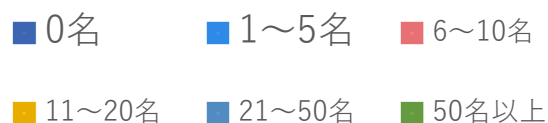
https://www.tsr-net.co.jp/data/detail/1201208_1527.html

問3-1～2. 従業員について

問3-1

正規雇用の人数

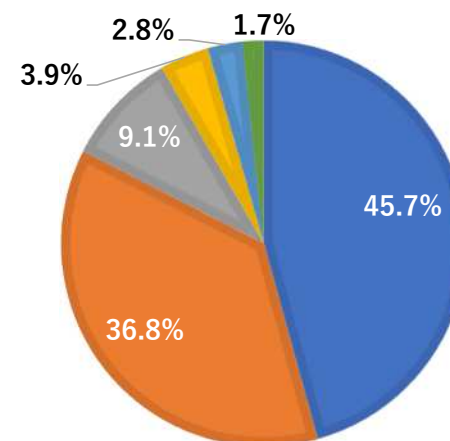
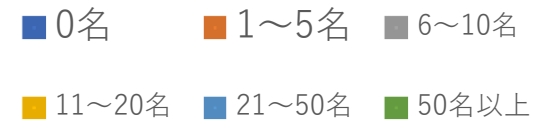
| | |
|--------|------|
| 0名 | 158社 |
| 1～5名 | 296社 |
| 6～10名 | 48社 |
| 11～20名 | 16社 |
| 21～50名 | 11社 |
| 50名超 | 9社 |
| 合計 | 538社 |



問3-2

非正規雇用の人数

| | |
|--------|------|
| 0名 | 246社 |
| 1～5名 | 198社 |
| 6～10名 | 49社 |
| 11～20名 | 21社 |
| 20～50名 | 15社 |
| 50名超 | 9社 |
| 合計 | 538社 |



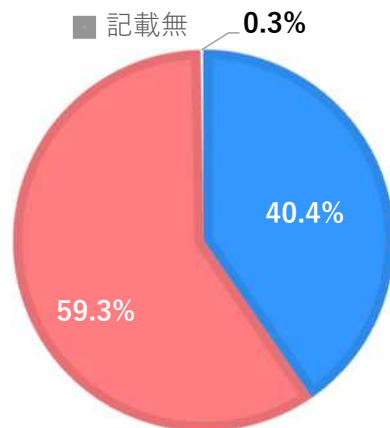
問3-3～6. 従業員について②

問3-3～4

従業員の性別比率

| | |
|-------|--------|
| 男性従業員 | 3,082名 |
| 女性従業員 | 4,528名 |
| 記載無 | 21名 |
| 合計 | 7,631名 |

■ 男性従業員
■ 女性従業員
■ 記載無

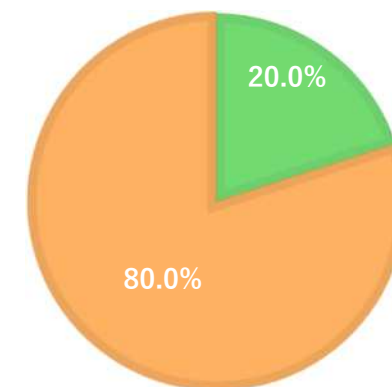


問3-5～6

従業員の市内在住率

| | |
|------|--------|
| 市内在住 | 1,526名 |
| 市外在住 | 6,105名 |
| 合計 | 7,631名 |

■ 市内在住 ■ 市外在住



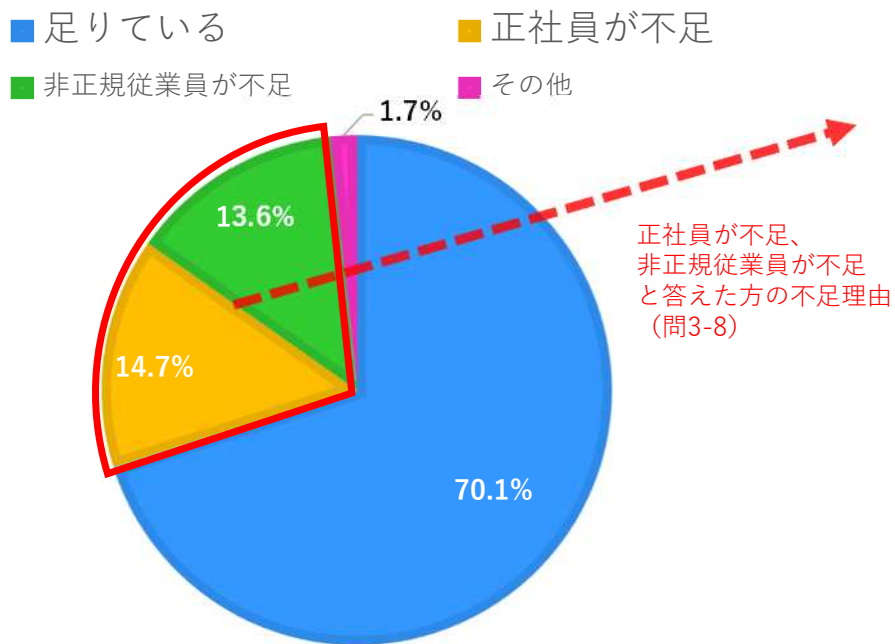
全国の就業者の性別比率は男性は3696万人、女性は3051万人で、比率は55:45に対し本市は女性の比率が高い状況となっている。また、従業員の市外在住が約80%と市外から労働力をまかなっていることがわかる。

(参考)

[総務省 労働力調査\(基本集計\)2023年\(令和5年\)平均結果の要約](file:///irv-userfile/user/kobayas3752/Downloads/youyaku_2023%20(2).pdf)
file:///irv-userfile/user/kobayas3752/Downloads/youyaku_2023%20(2).pdf

問3-7. 従業員の充足について③

従業員の充足について



問3-8. 不足の理由 (詳細は別紙参照)

●ポジティブな理由

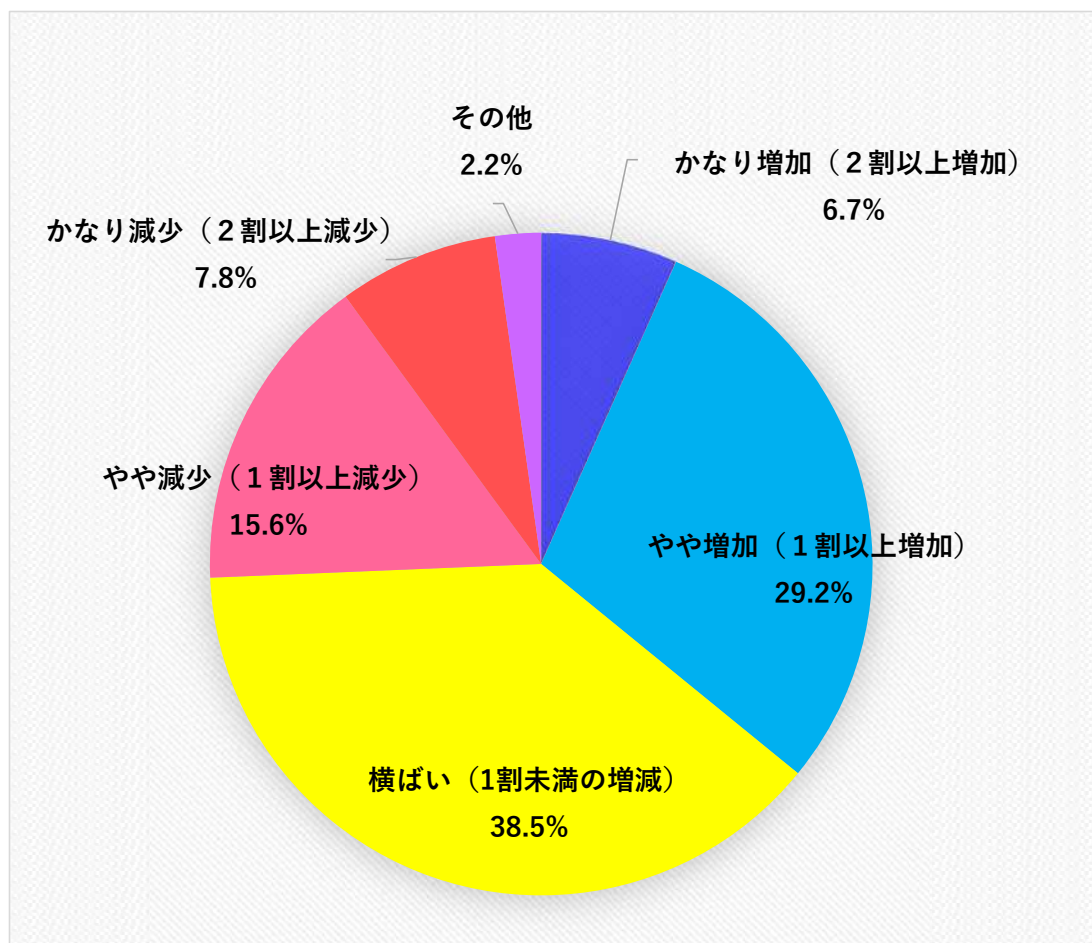
| 理由 | 件数 |
|---------|----|
| 事業拡大のため | 3 |

●ネガティブな理由

| 理由 | 件数 |
|----------------------|----|
| 外部環境等 (求人難等) | 13 |
| 財務上の問題 (雇用困難等) | 7 |
| 業務内容の問題 (重労働、専門職不足等) | 8 |
| 勤務状況の問題 (勤務条件等) | 7 |
| 人材による理由 (技術レベル・スキル等) | 18 |
| 雇用属性による理由 (高齢化・学生等) | 24 |
| その他 (応募がない等) | 26 |

不足理由は、ネガティブな意見が多く、理由として、高齢による退職や学生の卒業などがあり、専門性が高い職種においては基準を満たす人材がいらないとの意見が多かった。ポジティブな意見として、事業拡大や新規事業の開始などの意見が挙げられた。また、求人を出しても人が集まらないとの回答も見られた。

問4-1.前年との比較(売上額)



| 前年度比較 | 件数 |
|----------------|-----|
| かなり増加 (2割以上増加) | 36 |
| やや増加 (1割以上増加) | 157 |
| 横ばい (1割未満の増減) | 207 |
| やや減少 (1割以上減少) | 84 |
| かなり減少 (2割以上減少) | 42 |
| その他 | 12 |
| 合計 | 538 |

売上増加は、193件(35.9%)、売上減少は127件(23.6%)と増加傾向の回答が多く、コロナ禍から回復に向かっていることが伺える。

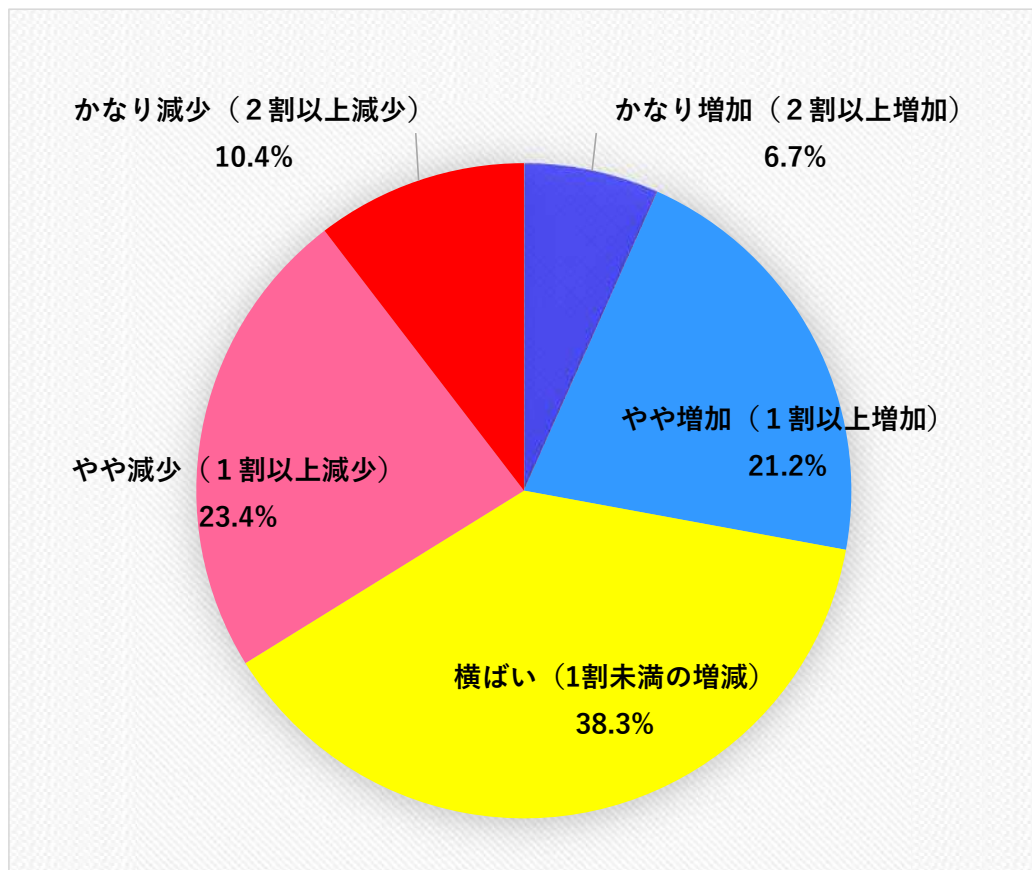
全国的には、「売上単価・客単価」の前年比高水準が続いてるが、いずれの産業においても上昇が弱まっている。

(参考)

[中小機構 中小企業景況調査](https://www.smrj.go.jp/research_case/survey/)

https://www.smrj.go.jp/research_case/survey/

問4-2.前年との比較(収益額)

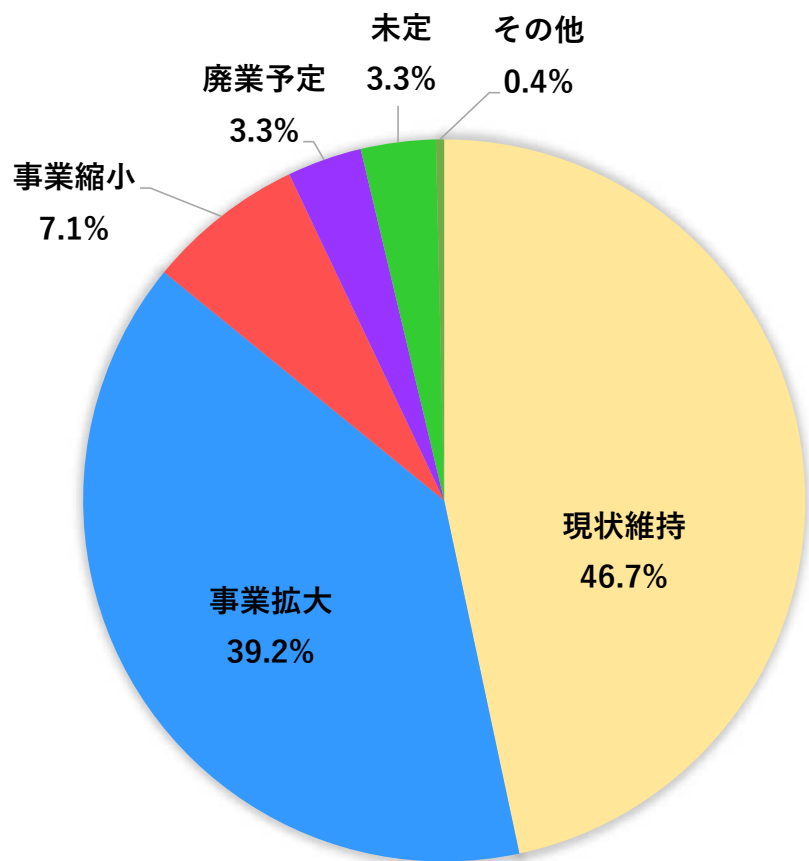


| 前年度比較 | 件数 |
|----------------|-----|
| かなり増加 (2割以上増加) | 36 |
| やや増加 (1割以上増加) | 114 |
| 横ばい (1割未満の増減) | 206 |
| やや減少 (1割以上減少) | 126 |
| かなり減少 (2割以上減少) | 56 |
| 合計 | 538 |

収益額の増加150件(27.9%)、収益額減少は182(33.8%)と売上額と逆転する結果となった。
理由としては、仕入れ等の物価高騰や人件費の高騰が挙げられる。

(問4-3 売上額・収益額の増減理由は、別紙参照)

問4-4.今後の事業展開について

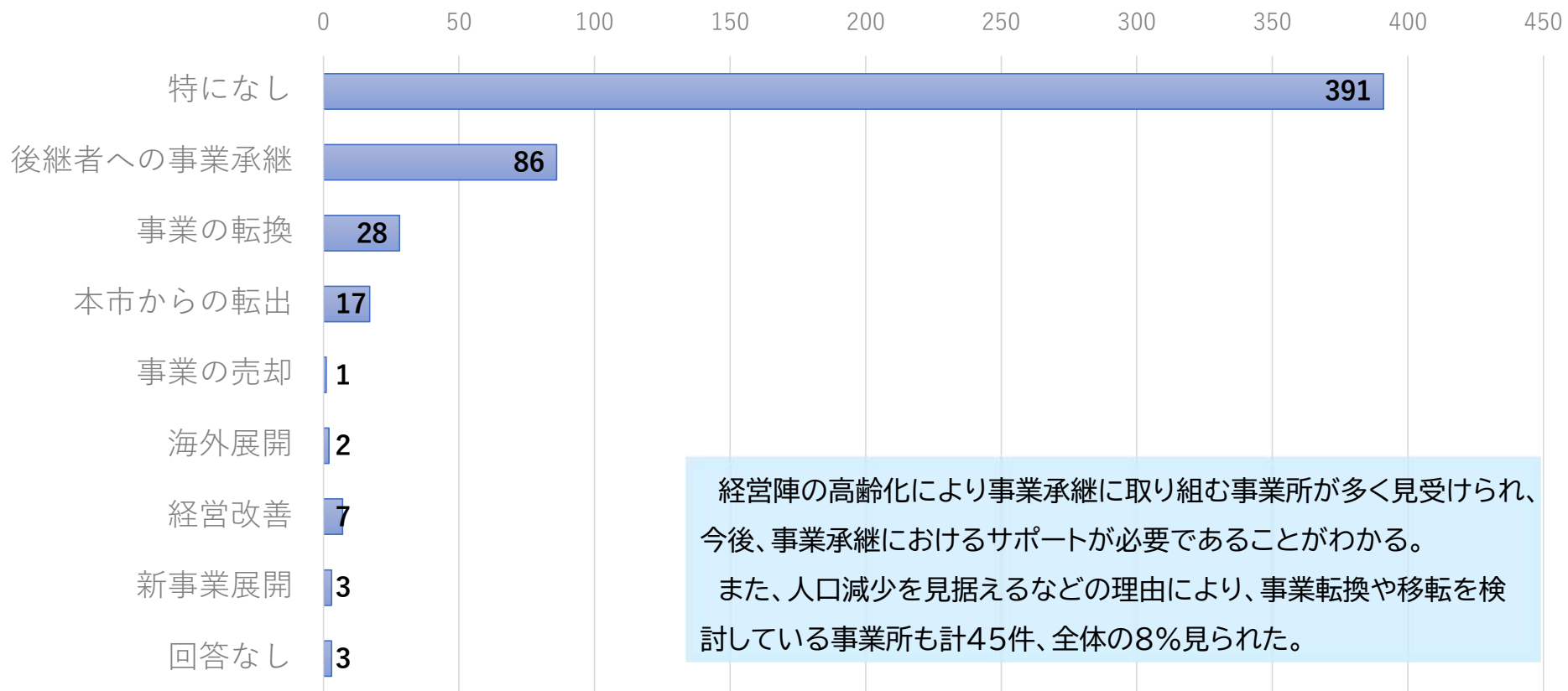


| 今後について | 件数 | 比率 |
|---------|-----|-------|
| 現状維持 | 251 | 46.7% |
| 事業規模の拡大 | 211 | 39.2% |
| 事業規模の縮小 | 38 | 7.1% |
| 廃業予定 | 18 | 3.3% |
| 未定 | 18 | 3.3% |
| その他 | 2 | 0.4% |
| 合計 | 538 | 100% |

現状維持と事業拡大の意見が85.9%と大半を占めた。
 意見として、海外進出等の販路の拡大や新たな業種への拡充を検討する事業所が多く見受けられた。
 廃業予定や事業縮小の理由の多くは、高齢化との回答だった。
 他に、後継者不在や業績不振などの意見もあった。

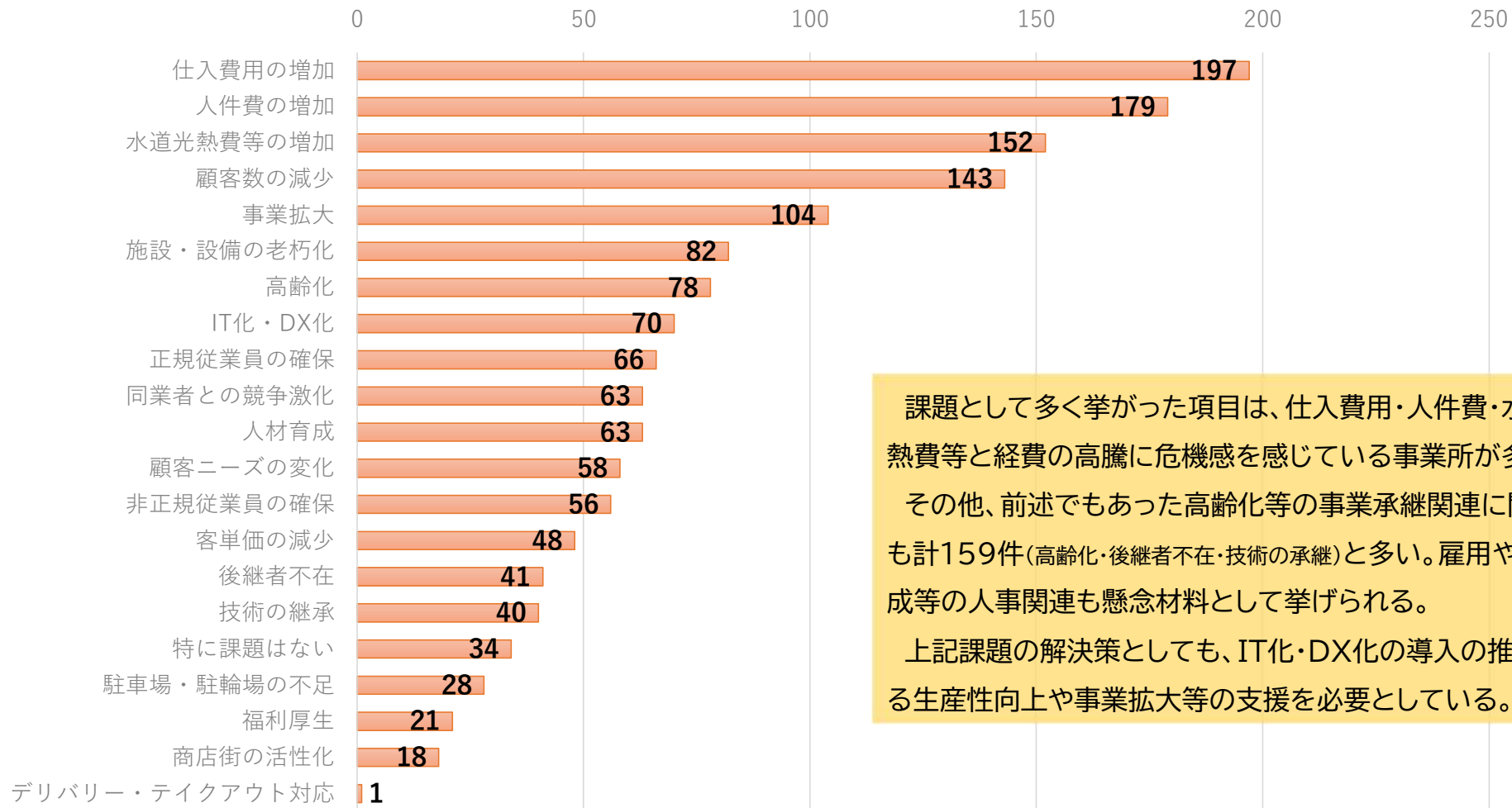
(問4-5.今後の事業展開の理由は、別紙参照)

問4-6.今後の経営について



(問4-7.今後の経営についての理由は別紙参照)

問4-8.経営上の課題 ※複数回答可

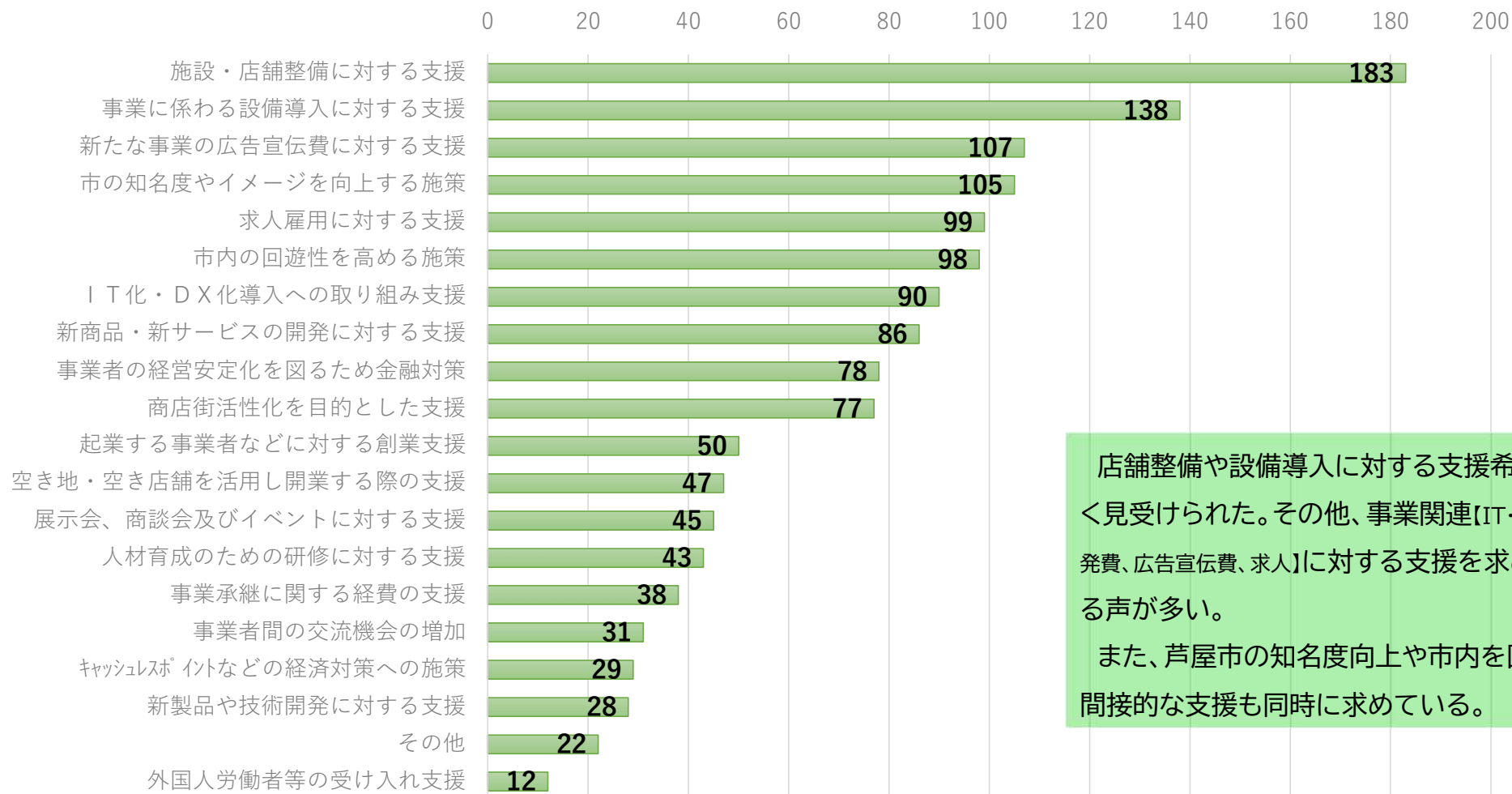


課題として多く挙げられた項目は、仕入費用・人件費・水道光熱費等と経費の高騰に危機感を感じている事業所が多い。

その他、前述でもあった高齢化等の事業承継関連についても計159件(高齢化・後継者不在・技術の承継)と多い。雇用や人材育成等の人事関連も懸念材料として挙げられる。

上記課題の解決策としても、IT化・DX化の導入の推進による生産性向上や事業拡大等の支援を必要としている。

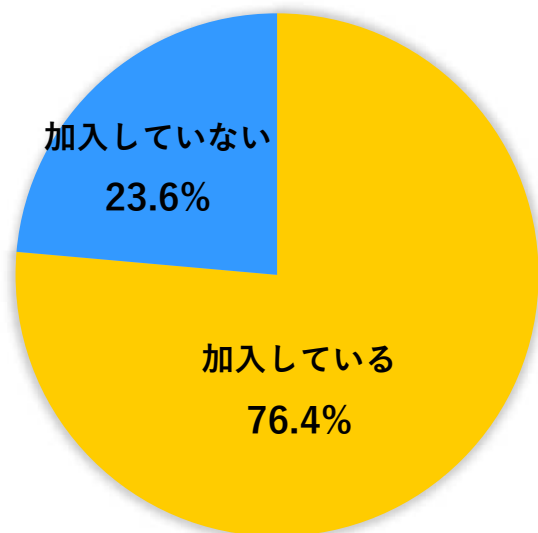
問5-1.希望する市の施策 ※複数回答可



店舗整備や設備導入に対する支援希望が多く見受けられた。その他、事業関連【IT・DX化、開発費、広告宣伝費、求人】に対する支援を求めている声が多い。

また、芦屋市の知名度向上や市内を回遊する間接的な支援も同時に求めている。

問6-1.芦屋市商工会について



| | 件数 | 割合 |
|---------|-----|-------|
| 加入している | 411 | 76.4% |
| 加入していない | 127 | 23.6% |
| 合計 | 538 | 100% |

●芦屋市商工会 会員事業所数 1,066件

⇒ 回答件数 411件(回答率38.6%)

●シルバー人材センター 市内店舗配布数 1,900件

⇒ 回答件数 127件(回答率6.7%)

(参考)

●令和3年 経済センサス

事業所に関する集計－産業横断的集計－事業所数、従業者数

芦屋市の事業所登録数 3,144件

うち、個人事業主 925件、法人 2,123件

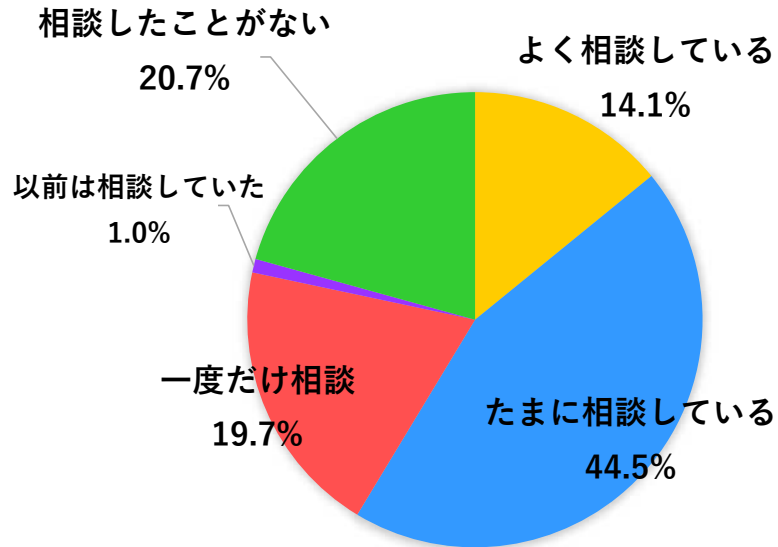
(参考)

[総務省 経済センサス-活動調査](https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00200553&tstat=000001145590)

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00200553&tstat=000001145590>

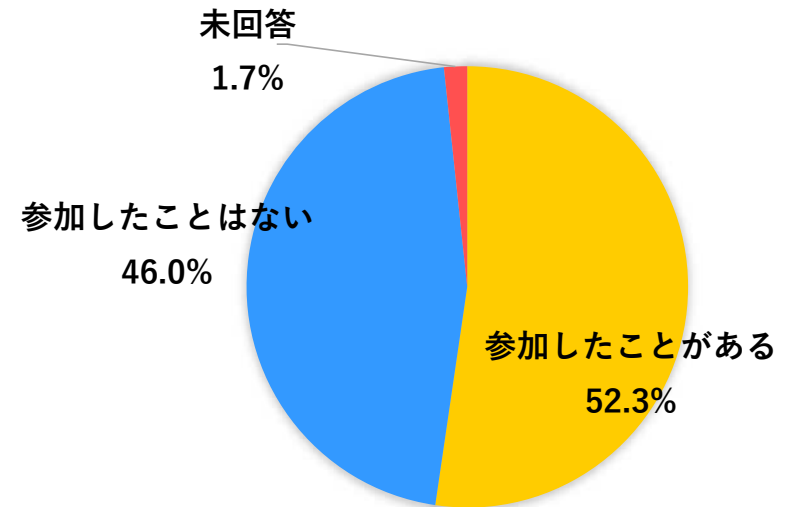
※以下、商工会に加入している411事業者が回答

問6-2.芦屋市商工会への相談について



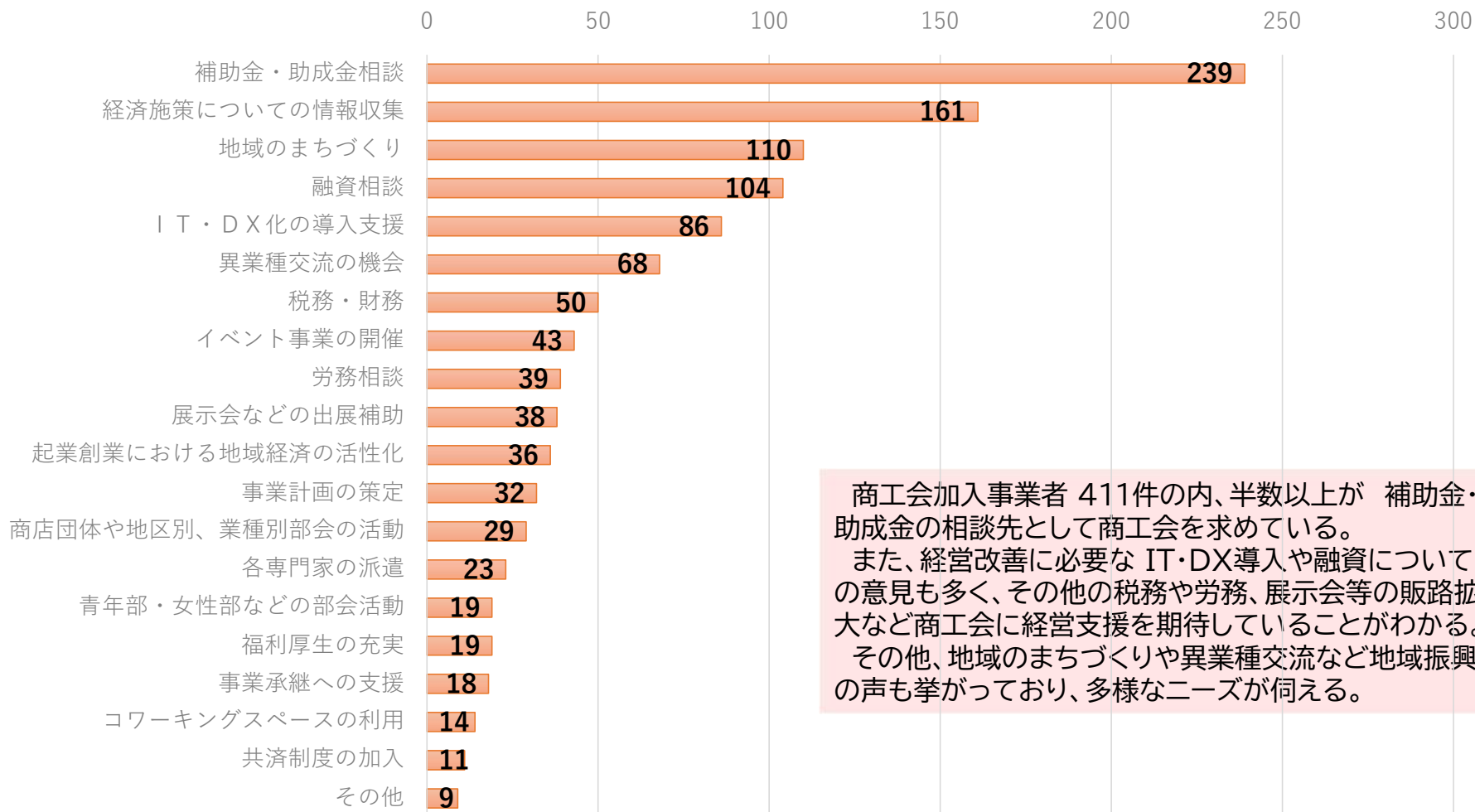
| | 件数 | 割合 |
|-----------|-----|-------|
| よく相談している | 58 | 14.1% |
| たまに相談している | 183 | 44.5% |
| 一度だけ相談 | 81 | 19.7% |
| 以前は相談していた | 4 | 1.0% |
| 相談したことがない | 85 | 20.7% |
| 合計 | 411 | 100% |

問6-3.商工会主催のセミナー等の参加について



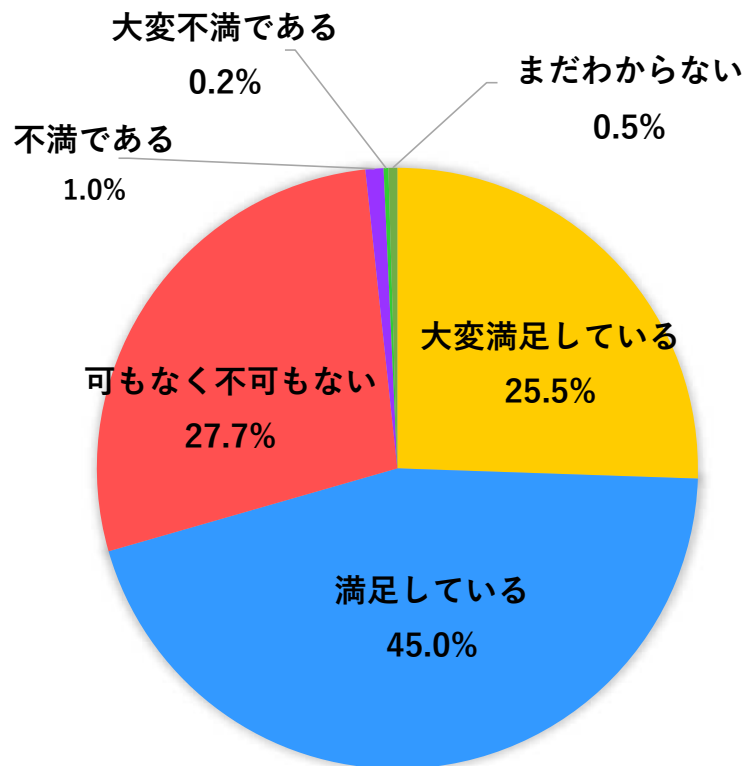
| | 件数 | 割合 |
|-----------|-----|-------|
| 参加したことがある | 215 | 52.3% |
| 参加したことがない | 189 | 46.0% |
| 未回答 | 7 | 1.7% |
| 合計 | 411 | 100% |

問6-4.商工会に求めていること ※複数回答可



商工会加入事業者 411件の内、半数以上が 補助金・助成金の相談先として商工会を求めている。
 また、経営改善に必要な IT・DX導入や融資についての意見も多く、その他の税務や労務、展示会等の販路拡大など商工会に経営支援を期待していることがわかる。
 その他、地域のまちづくりや異業種交流など地域振興の声も挙がっており、多様なニーズが伺える。

問6-5.商工会に加入し満足していますか



| | 件数 | 割合 |
|-----------|-----|-------|
| 大変満足している | 105 | 25.5% |
| 満足している | 185 | 45.0% |
| 可もなく不可もない | 114 | 27.7% |
| 不満である | 4 | 1.0% |
| 大変不満である | 1 | 0.2% |
| まだわからない | 2 | 0.5% |
| 合計 | 411 | 100% |

満足以上のお声が約70%占めるが、可もなく不可もなくも ¼の声がある。満足の声には、「相談対応」の他、「補助金策定サポート」、「融資」、「交流機会」などが挙げられている。

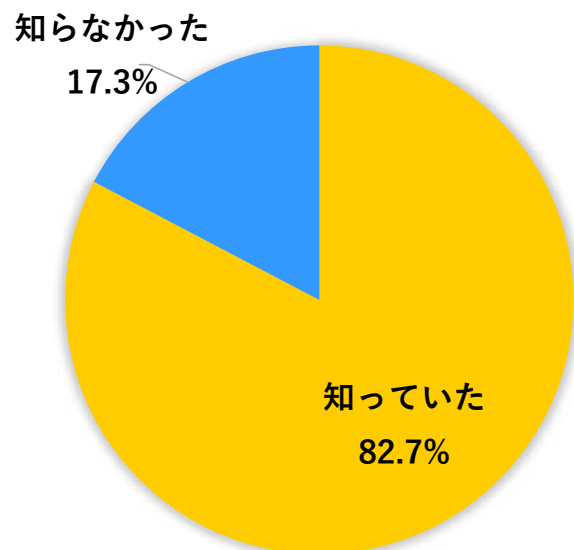
また、可もなく不可もなくの方は、「相談していない」や「事業に参加できていない」、「メリットを感じていない」などがあり、商工会を利用していない意見が挙げられている。

大変不満の理由として、「友達みたいな集まりの集団で入りにくい」との意見があった。

(問6-6.商工会への満足度の理由は別紙参照)

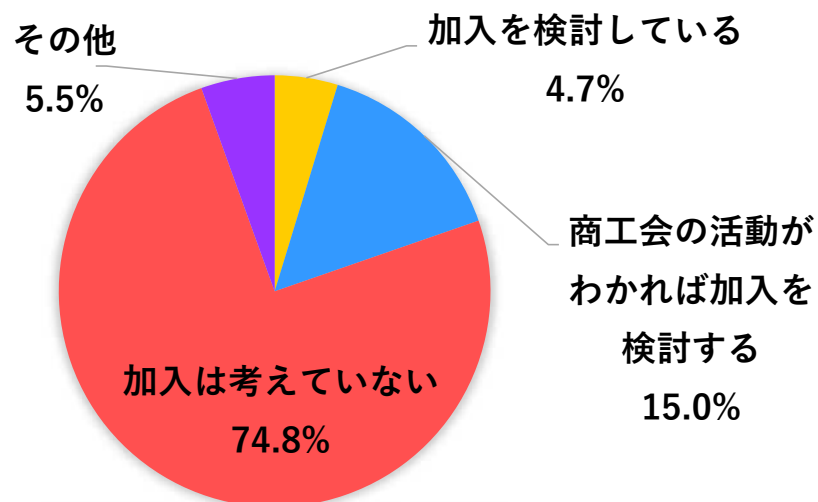
※以下、商工会に加入していない127事業者が回答

問7-1.商工会の認識について



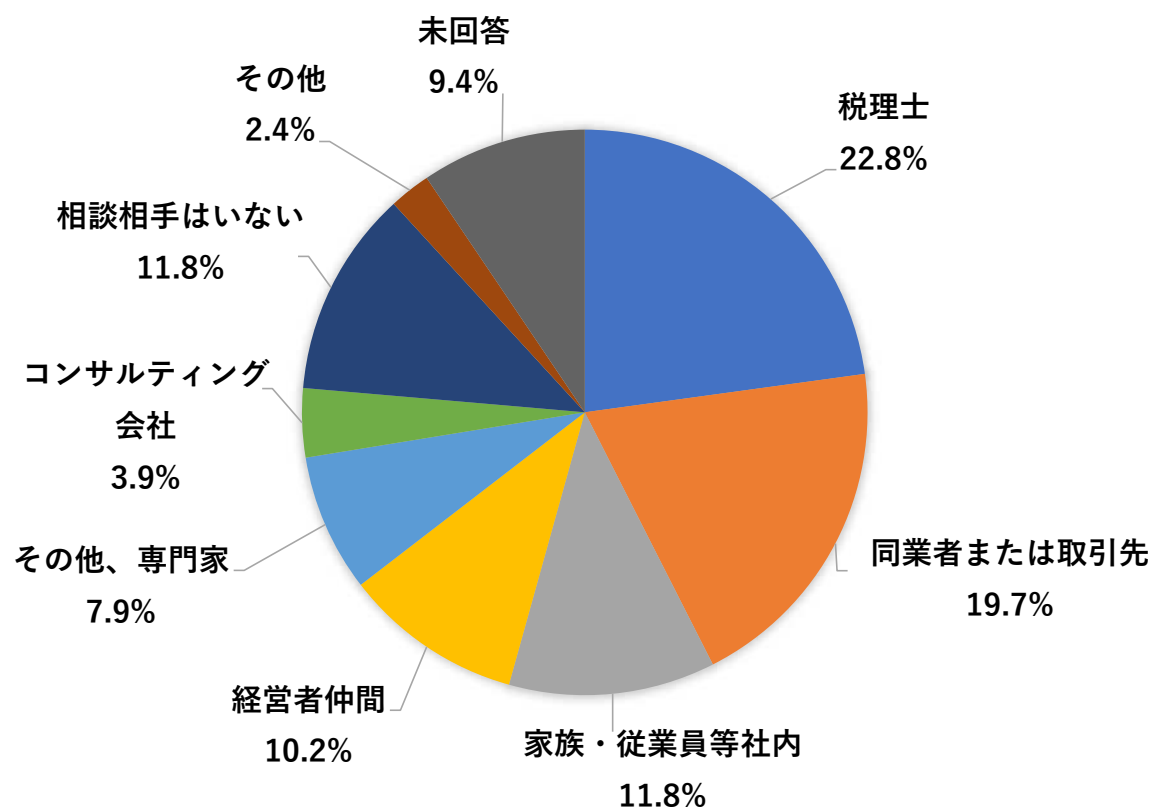
| | 件数 | 割合 |
|--------|-----|-------|
| 知っていた | 105 | 82.7% |
| 知らなかった | 22 | 17.3% |
| 合計 | 127 | 100% |

問7-2.商工会の加入について



| | 件数 | 割合 |
|--------------------|-----|-------|
| 加入を検討している | 6 | 4.7% |
| 商工会の活動がわかれば加入を検討する | 19 | 15.0% |
| 加入は考えていない | 95 | 74.8% |
| その他 | 7 | 5.5% |
| 合計 | 127 | 100% |

問7-3.経営について相談相手を教えてください



| | 件数 | 割合 |
|------------|-----|-------|
| 税理士 | 29 | 22.8% |
| 同業者または取引先 | 25 | 19.7% |
| 家族・従業員等社内 | 15 | 11.8% |
| 経営者仲間 | 13 | 10.2% |
| その他、専門家 | 10 | 7.9% |
| コンサルティング会社 | 5 | 3.9% |
| 相談相手はいない | 15 | 11.8% |
| その他 | 3 | 2.6% |
| 未回答 | 12 | 9.4% |
| 合計 | 127 | 100% |

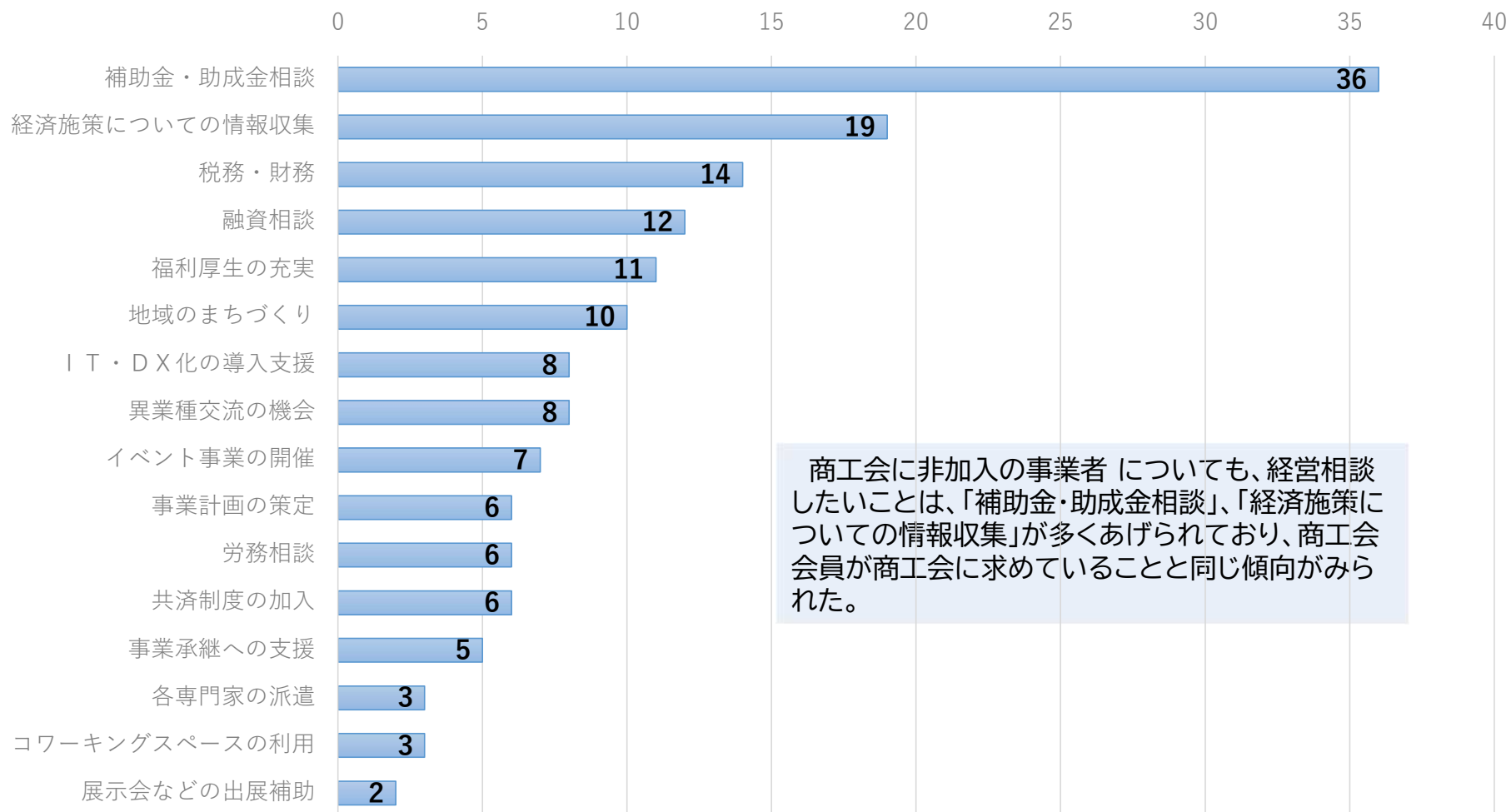
個別の経営課題を解決するために、「日常の相談相手」が重要な役割を果たしていることが小規模企業白書で示されている。全国調査でも、税理士や同業者への相談が多く、類似した結果となった。日常的に会う機会が多いビジネスパートナーに相談する傾向にある。

(参考)

[中小企業庁 2020年版小規模企業白書 日常の相談相手の活用](https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2020/shokibo/b3_2.4.html)

https://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/2020/shokibo/b3_2.4.html

問7-4.経営相談したいこと ※複数回答可



商工会に非加入の事業者 についても、経営相談したいことは、「補助金・助成金相談」、「経済施策についての情報収集」が多くあげられており、商工会会員が商工会に求めていることと同じ傾向がみられた。

芦屋市中小企業等アンケート調査 まとめ

(事業規模)

回答企業の8割以上が小規模事業者であり、全国の小規模事業所の割合と近い結果となった。

(売上高)

売上高について、中央値は全国平均を上回るものの、2,000万円以下の企業が半数を占めている。

(経営者)

女性代表者の割合が27.5%となっており、全国の女性社長の割合に比べ、比較的高い数値となっている。また、代表者の年齢は、全国の中小企業に比べ70代以上の構成比が低く40代以下の構成比が高い結果となり、本市では世代交代が進んでいる状況であると推測される。

(経営状況)

売上額は増加傾向にありコロナ禍からの回復が伺える一方で、収益額は減少傾向にあり仕入れ費用や人件費の高騰が要因として挙げられる。

(今後の事業展開)

現状維持と事業拡大の意向が大半を占めているが、高齢化を理由とした廃業や事業縮小もみられる。事業承継へのサポートが求められている。

(経営課題)

経費の高騰に加え、事業承継、雇用、人材育成などが懸念材料として挙げられる。また、IT化・DX化の推進による生産性向上が求められている。

(希望する施策)

店舗整備や設備導入、IT・DX化、開発費、広告宣伝費、求人などへの支援を求める声が多く、芦屋市の知名度向上や市内回遊性を高める間接的な支援も求められている。

(総括)

アンケート結果から、芦屋市の中小企業・小規模事業者は、経費高騰や事業承継といった課題を抱えながらも、事業拡大やIT化に意欲を持っていることがわかる。商工会への期待も高く、経営支援や地域振興へのニーズが伺える結果となった。